

# 桐鈴凛々

## 謹賀新年

～両親の介護を経験して～

桐鈴会評議員 田中せつ子

第117号

平成30年1月10日発行

発行責任者

社会福祉法人 桐鈴会

理事長 黒岩秩子

南魚沼市浦佐 5142-1

電話 025-780-4118

FAX 025-777-3731

e-mail

[info@toureikai.com](mailto:info@toureikai.com)

<http://www.toureikai.com/>

## 桐鈴会の理念

- ・終のすみかを目指す
- ・「迷惑をかけ合える関係」を目指す
- ・高齢者、しよがいしゃ、子どもたちが

安心して住める地域を創ろう！



1月には父が亡くなりました。その後、両親への介護の反省から、仕事も介護職を2年半させていただきました。50代とは人生の大きな転機であったと思うのは、きっと私一人ではないのでは…。

介護、ケアハウス、自然幼稚園、保育園、看護福祉専門学校があり、住民も自由に出入りしている杜でした。そこでは、自然と多世代が交流できるような工夫がたくさんあり、とても生き活きと明るい雰囲気、多様性を認め合う共生社会の縮図のようだったと思います。

この浦佐の地でも、八色の森公園を中心に、医療・介護・福祉・保育・教育が揃っています。医師や看護・介護の専門職員が不足であったり、冬場の雪対策

もあつたりと課題は多いのですが、地域全体が寄り添い支え合う、これからの「地域包括ケアシステム」には、この桐鈴会が核となって益々重要な役割を担っていくものと感じています。地域として支えるお手伝いができるよう、私も60代の心がけと



南魚沼市唯一の女性市議会議員です

昨年、市議会会派の視察研修

で、長久手市の「愛知たいようの杜ゴジカラ村」を政務調査して来ました。ここの雑木林の中

には、特養、小規模多機能、ショートステイ、グループホーム、デイサービス、訪問看護・訪問

平成30年という新たな区切りの1年が始まりました。私は成年生れで4月には還暦となります。そんな私にとつても記念の年の「桐鈴凛々新年号」に貴重なスペースを頂き、本当にありがとうございます。

私は桐鈴会の評議員として介護福祉にかかわり5年になります。が、両親のケアラーとして介護に縁ができたのは平成19年秋からでした。

最初は母が、味噌汁にスイカの皮を入れたり、同じ物を毎日買って来たり、父が入院中に一人では居られないと泣いたり、

明らかにおかしいと思ひ、介護認定を受けたら要介護「1」で、

週1回「地蔵の湯」を利用し始めました。

そして平成20年正月早々、脑梗塞で入院し一気に要介護「4」となりました。退院後は日曜以外毎日デイサービスに通っていましたが、1年後には父が母に対し暴言暴力を振るひ、アルツハイマー病と診断され、2人も

もデイサービスとショートステイを利用する生活となりました。私は同時期に2度職場の異動があり、娘たちの出産など公私共に超多忙の中で、やっと母は八色園に入園できました。

ホッとしたのも束の間、また本社に異動し激務の中で、平成23年10月に母が亡くなり、翌年



ケアハウス 鈴懸

あけましておめでとうございます

本年もよろしくお願いたします



新潟県南魚沼市  
浦佐5142の1  
社会福祉法人 桐鈴会  
(入居者、役・職員一同)







工房とんとん



グループホームおひさま





グループホームひまわり



グループホーム桐の花

丸紅さまより寄附

工房とんとん

施設長

鈴木智子



工房とんとんの西側に車椅子用のスロープがありますが、屋根がないため、雨の日、雪の降る期間は使用できませんでした。やむを得ず、玄関前の車道で送迎車からの車椅子乗降をしていました。このスロープに屋根をつけたいと言いながら、なかなか予算が取れないでいました。

11月17日、丸紅の社員3人の方が新幹線に来て、助成金目録を届けてくださいました。とんとん利用者、職員一同大歓迎し、利用者代表がお礼の言葉を述べました。聞くところでは、職員が給料天引きで、丸紅基金に積み立て、会社が同額を入れて、1億円を年間120ぐらいの施設、団体に助成しているということでした。

12月5日、基金から20万の助成をいただき、12月上旬屋根が完成しました。今年の冬は安心して車椅子乗降できます。ありがとうございます。



これで雪の日も安心。車椅子用屋根が完成しました

女子3人旅 in はちのへ

工房とんとん  
利用者 寺口こずえ



10月8日・9日の2日間「NPO在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク全国の集い in はちのへ」に桐鈴会統括施設長の森山さん・工房とんとんサービスマネジメント責任者の湯本さんと私の3人で参加してきました。

遠出が十数年ぶりだったので

新幹線駅がとても綺麗になっていたこと、誰でも使えるエレベーターがホームごとに設置されていることに驚きました。

会場に到着してから自分の発表まで時間があったので、岩手県の認知症への取り組みなどを聞いていました。

私は「障害者・障害児ケア」という部門で発表させて頂きました。私の発表では、森山さんがパワーポイントでの映像操作、湯本さんがとんとんと私の紹介発表・私が自分の体験発表と3人それぞれの役割を懸命にこなしました。演台に進み出て前を向いたら、武者震いのようなパニックの発作のような不思議な感覚になってしまい、少し大変でしたが落ち着いて発表する事が出来ました。

私以外の発表は看護師さん・ヘルパーさん・相談支援センターの相談員さん・作業療法士さん・歯医者さんで皆さん、試行錯誤しながら支援してくださいっていることがよくわかりました。他の方の発表を聞きながら誰もが病気や障がいがあっても地域で暮らすことが重要である事

を再認識しました。それから当事者・当事者家族や地域住民を含めた、多職種連携の研修会や研究が拡大して欲しいと思います。

会場が6つあり、多くの講演や発表がありましたが、移動や日程の都合で聞くことができませんでした。残念でした。

この研修旅行に行ったことで今後の目標ができた気がします。また応援、ご支援頂いた皆さんありがとうございます。

第23回全国の集い in はちのへ<sup>2017</sup>  
2017年10月8日(日)・9日(月祝)



この日の発表は最優秀賞をもらいました



新入居者紹介  
よろしくお願ひします



ケアハウス鈴懸

山之内キユシさん

主人が亡くなり、6年の法要が終り、つかの間の出来事でした。魚沼市の人は、鈴懸に入居できないと思っておりましたが、鈴懸から電話があり、嬉しかったです。でも家にもいろいろなものがあると思うと、頭の中がいっぱいになりました。

近所の人達が心配いらないと手伝つて下さいました。入居が遅くなって申し訳なく思っています。

職員の人たちがいい人ばかりで、ありがたく思っています。

入居して、青木さんのお顔が見えた時は、本当にうれしかったです。

鈴懸に入居して4カ月になり、暑い夏も過ぎ、遠山には雪が降り、家にいたら大変だったと思いました。

広神にいた時は、いろいろの方が訪れて一日中お茶会でした。私を大切にお付き合ひいただき、本当にありがたく思っています。

入居者の皆さんが若く元気で、私も皆さんに迷惑をかけないようにガンバって行きたいと思つて居ります。

食事にも慣れて心からありがたいと感謝しています。

何もわからない私ですが、皆さんの気にさわったら許して下さい。

楽しく一日をすごすことが、私の願ひです。



新入職員紹介  
よろしくお願ひします

工房とんとん



小林和子

こんにちは、12月から工房とんとんでお世話になっていきます。働くことが大好きで、色々な仕事をやっていますが、パン作りにも興味を持ち、60歳からの手習いで張り切っています。

孫に美味しいパンを作つてやれたらうれしいなー、新たな挑戦で頑張っています。

おひさま世話人

磯部明子



11月から「おひさま」でお世話になっていきます。

福祉のお手伝いをするなんて、今まで考えてもいませんでしたが、調理をして入居者さんが喜

んでくれたりすると、やって良かったなあと思って思います。どんな料理を作つたらいいのか、どうしたら喜んでくれるのか、毎日、メニューのことばかり考えています。慣れるまでは大変だと思いますが、一生懸命頑張りたいと思います。



障がい者虐待防止研修会  
 グループホーム桐の花  
 管理者 小川明子

9月15日、夢草堂にて、弁護士黒岩海映先生より、全職員対象に講義を頂いた。

昨今、障がい者・高齢者ともに痛ましい事件が起きており、世の中のものも厳しいものとなっている。虐待は組織の問題だという。職員は皆、入職当時は優しい気持ちいっぱいだったはずなのである。それがスキルの乏しき、専門性の欠如等により、ストレスを溜めてしまう。法人（組織）として、それを意識して虐待が起きない職場づくりをしていかなければならない。

福祉でよく言われること「人格の尊重」。海映先生は「一人の人としてきちんと対する」と表現した。自分がされて、言われて「えっ？」と思う事はするな！ということと思うと分かりやすい。講義の他にグループワークを行った。日頃、自分たちの関わりの中に人格否定の小さな芽があることを感じ取る事が



2017/11/13

桐の花便り

浦佐認定こども園の1歳児クラスがブラリと立ち寄ってくれ、子どもたち、入居者、双方とろけるような笑顔でした。

できた。今回の研修会でこの小さな芽が摘み取られ、今後も摘み続けられ、利用者も家族も職員も、笑顔でいられる桐鈴会でありたい。



2017/11/13



2017/11/28



2017/12/16



2017/11/28

もちつき大会



新春俳句集

鈴懸俳句の会



手袋の丸味おびたる 暖かさ  
物を書く 一日炬燵 離れずに

高野 義郎

展望風呂 雪の絶景 一人占め  
珈琲と 炬燵が 連れの 老夫婦

井上 信吉

冬景色の デッサンのまま 画家  
逝けり  
読みさしの ページそのまま  
なる 炬燵

関 薫司

雪の夜 その静けさに 耳澄ます  
イニシャルも つづりて 手袋  
編み 終える

山岸 トヨ

うたた寝の 妣ははと 猫 みる 炬燵 かな  
真向ひに 来る 冬の 風 並木道

種村 道子

院の名は「ゆきぐに大和」雪の  
町

漆黒の 空寒月の ひかり 鋭し

山田ヒサ子

英国製 手袋 馴染む 二十年  
新巻きが 軒に 連なる 北の町

吉田 英男

寒き朝 乾布 摩擦の 声出して  
枯木立 遠くの 景色 連れてくる

上村キヌ子

～講演会のお知らせ～

「良寛さんから学ぼう」

日時 2月4日(日)  
14時～16時  
会場 夢草堂  
講師 岡村鉄琴(本名浩) 新潟大教授  
主催 医療法人萌気会、桐鈴会  
入場 無料(どなたでもおいでください)



編集後記

あけましておめでとうござい  
ます。桐鈴凛々は今年から発行  
日を早めることになりました。  
隔月10日発行を目指しますの  
でよろしくお願い致します。

人生100年時代という言葉  
耳にしました。定年後の人生が  
とても長くなつたので、早めに  
次の目標を立てましょう、とい  
うことらしいです。30代で考え  
始めても早過ぎないということ  
です。団塊世代が若い頃は、人  
生70年という設定で社会制度  
が作られていたというからびつ  
くりです。これからも寿命が延  
び続け、本当に人生100年時代が  
来るかもしれません。

巻頭に寄稿していただいた田  
中せつ子さんは南魚沼市の唯一  
人の女性の市議会議員ですが、  
壮絶な両親の介護を乗り越え、  
会社員から議員へと転身を遂げ  
ています。50代の転身です。

さて、私も何年後かの目標を  
そろそろ考えなければと、思い  
巡らす元旦です。  
グループホーム桐の花

高橋陽子

